



紅葉を行く
月山
館内忠義



熊野座
秋の庭
(写真)
河合 美津江
7.13.2018撮影



熊野座
忍野八海
(写真)
加藤 紗智子
7.13.2018撮影



熊野座
カンファレンスセンター
(写真)
河合 美津江
7.13.2018撮影



熊野座
宮内庁
(写真)
河合 美津江
7.13.2018撮影



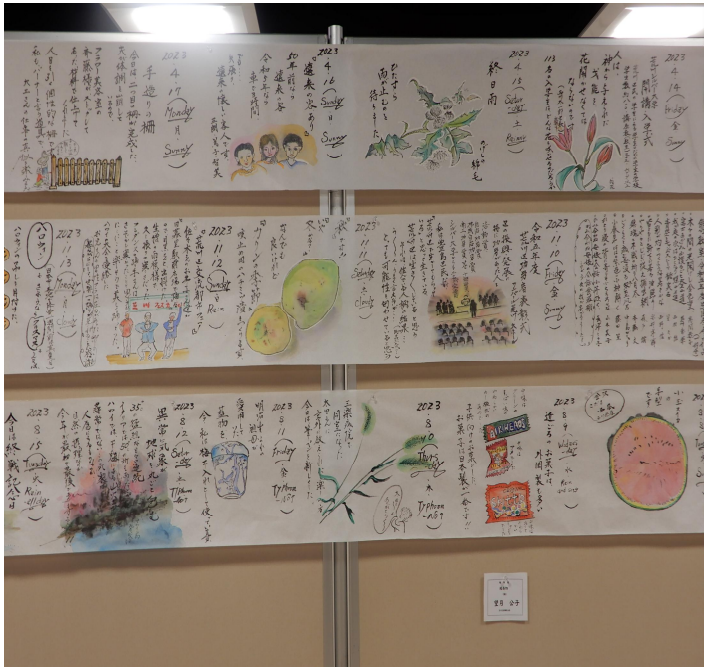
熊野座
香取型航空機
(写真)
戸叶 恒夫
7.13.2018撮影



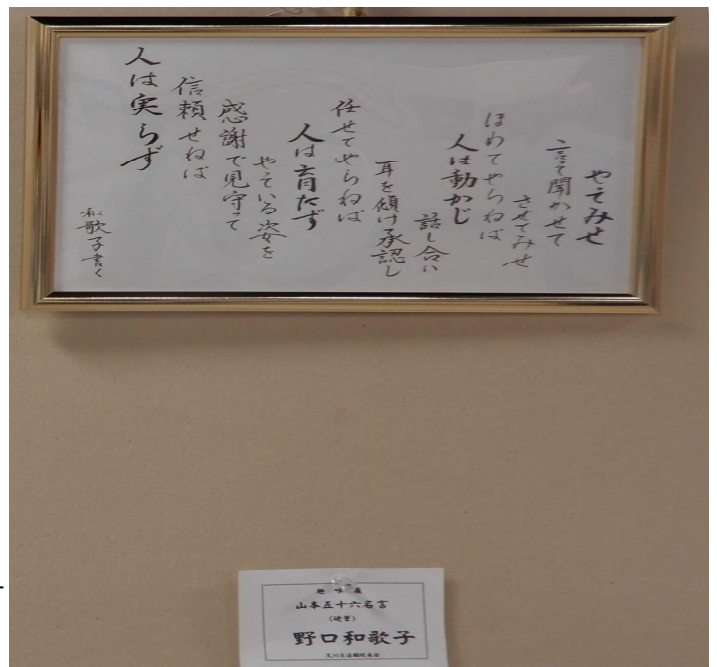
題名 恒夫
びつち生上りて 渡御川、毎朝
(写真)
戸叶 恒夫
文川日報編集長

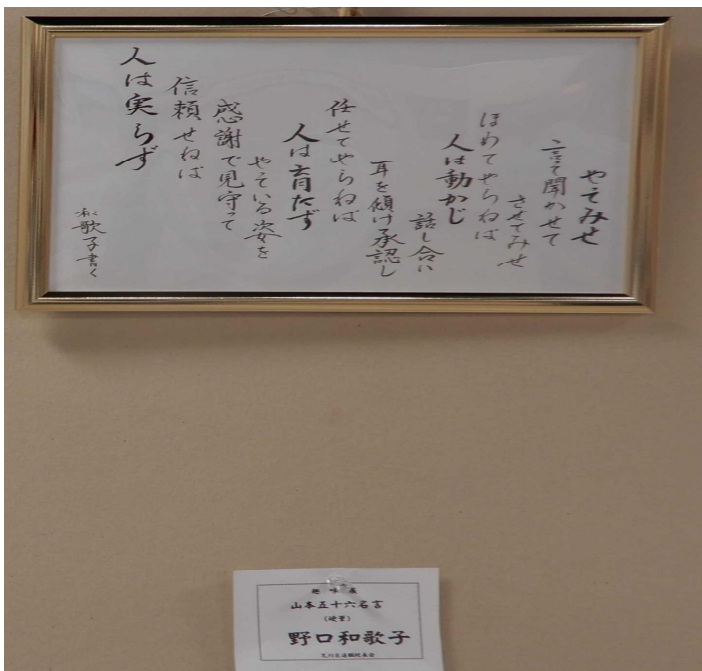


題名 恒夫
機上から見た夜景、羽田第一ターミナル
(写真)
戸叶 恒夫
文川日報編集長

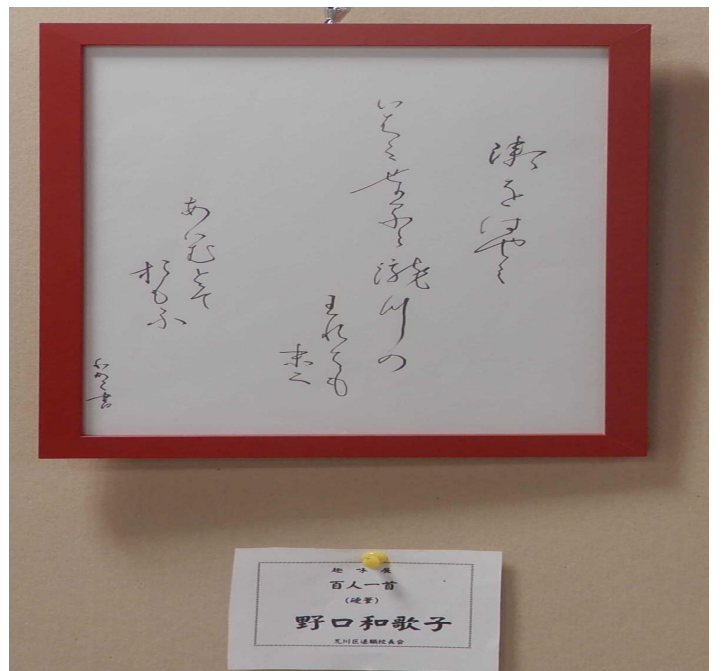


題名 純成
根谷台遺跡
(写真)
加藤 純成
文川日報編集長

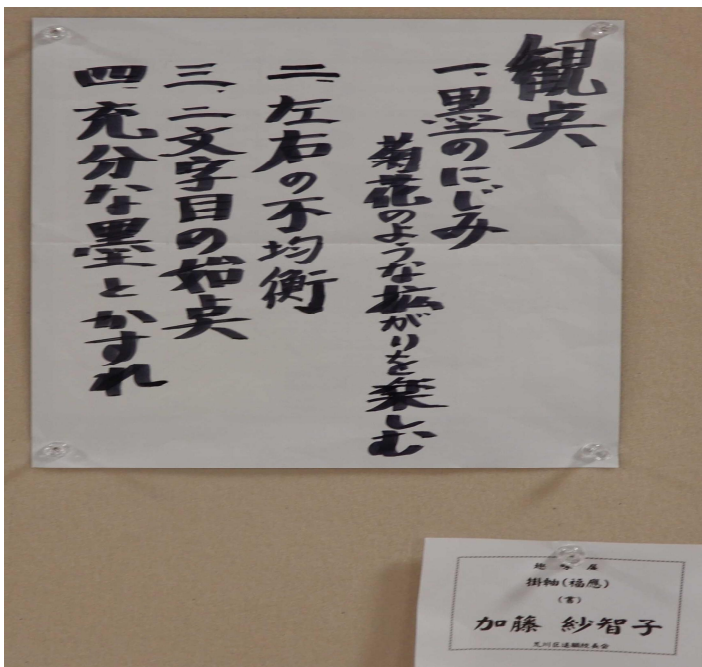
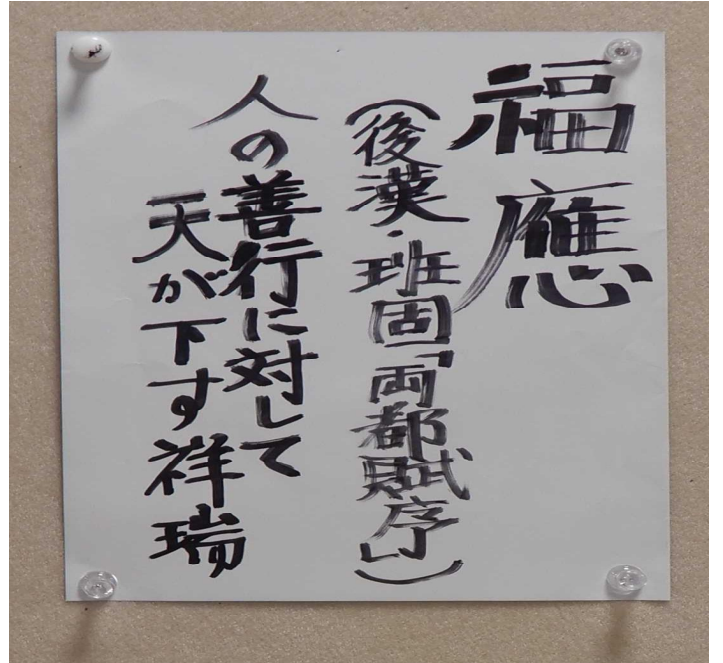
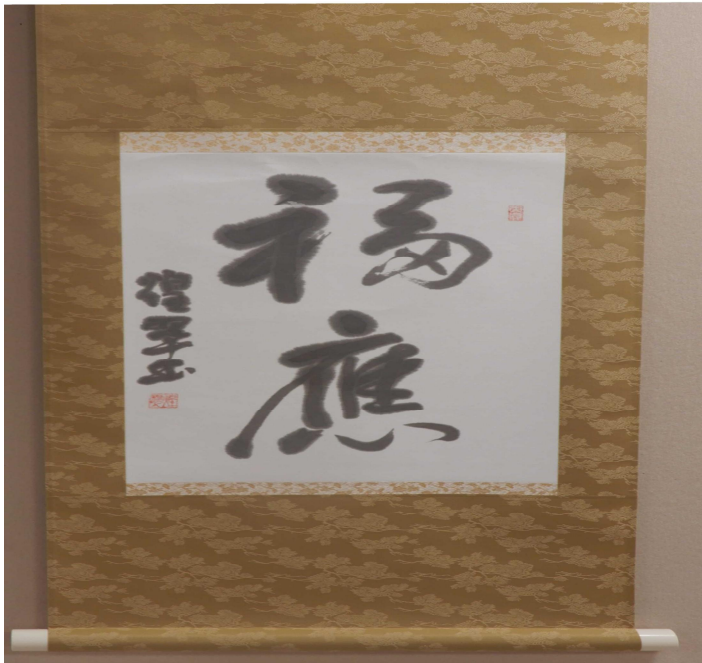




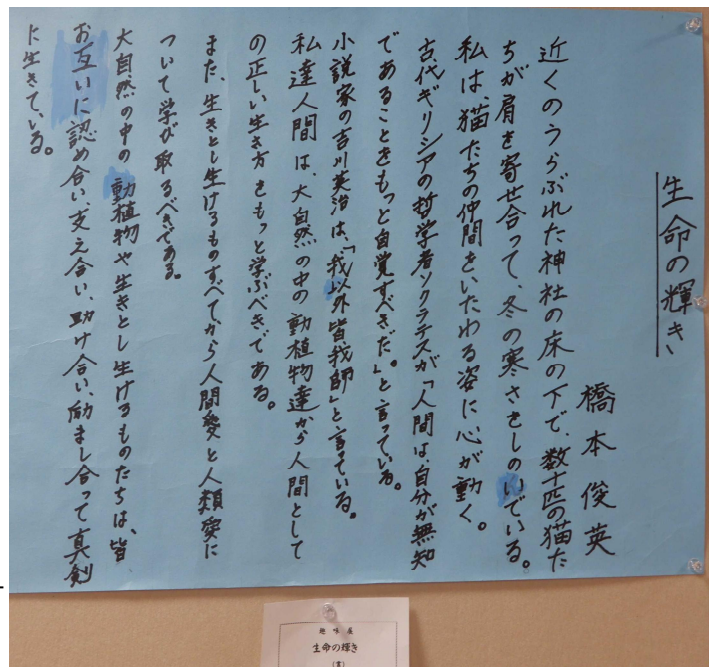
地味屋
山本五十六名言
(祝賀)
野口和歌子
元川区連福院長会



地味屋
百人一首
(祝賀)
野口和歌子
元川区連福院長会



地味屋
掛軸(福應)
(賞)
加藤 紗智子
元川区連福院長会



地味屋
生命の輝き
(賞)

修四柱場

橋本俊英

東京大空襲では、多くの人々が焼け付けた。隅田川に飛び込んだ。
 広島・長崎への原爆投下では、巨大なキノコ雲で広島・長崎の青空が覆
 い隠され、逃げまどう母親の背中の上で、かわいい赤さんが死んで
 沖繩の防空壕の中にも逃げまどう住民の頭上にアメリカ軍の機銃掃射がま
 した。
 私の家族も、戦前父と母と兄がソ連軍の攻撃によって、中国のハルビンで離れ、
 兄は、残留孤児となり、中国人の心ある女性に助けられ、育てられた。
 今でも兄が生まれて、人民服姿で日本に帰ってきた時の兄の姿と父母の姿を忘れ
 ない。
 今、ウクライナでも、ロシアでも、ロシアやイスラエルによる空爆、侵攻が続
 いている。
 いかなる理由があろうと、いかなる国の大統領も首相も他国の人々の命を奪う
 ことは許されない。
 今の世界には、数千発の水素爆弾が存在している。
 このままでは、全世界、全人類滅亡のストーリーも現実となりうる。
 今こそ、国連や世界中の国々や世界中の命を、まき取り、合せて水爆や核兵器戦争
 のない世界をつくりあげて行くべきである。
 人類の明るい未来のために。









